

別紙1

自立支援協議会第2回全体会 委員意見取りまとめ(障がい者計画等の策定作業について)			
計画	項目毎	意見・質問	質問や意見に対する分析等
第4次いわき市障がい者計画等の実施状況について(49頁～54頁資料10及び別冊1、別冊2)	(ア) 第4次いわき市障がい者計画(後期)の実施状況について(49頁)	・療養介護の利用者数増は喜ばしい。さらに周知を図っていただきたい。 今年度はコロナで利用が制限されているのが残念であるが、次年度は、また元通り受け入れられることを期待している。	・療養介護の利用者数増は、いわき病院の増床によるものです。今後大きな増加はないものと見込まれます。
		別冊1 6 雇用・就業 203市職員の障がい者雇用の充実について ・身体障がい者を対象としているが、精神障がい者、知的障がい者、発達障がい者の雇用に関しても積極的に取り組んで頂きたい。 ・市職員として働く障がい者の方の相談窓口を設置して頂きたい。厚生労働省より、障害者就業・生活支援センターは、雇用保険2事業(事業主負担のみ)からの支出で委託費を拠出しているため、国や地方公共団体への支援は不可とされており、センターが市職員の職場定着支援をすることが難しい状況となっている。	・令和元年度は、知的障がい者・精神障がい者も受験資格の対象者として実施し、積極的な雇用に取り組んでいます。 ・市職員として働く障がい者についての相談窓口につきましては、庁内担当課との協議も含め、検討して参りたいと思います。
	(イ) 第5期いわき市障がい福祉計画の成果目標に係る実績等について(50頁～53頁)	・地域生活移行の国の数値目標に囚われすぎないことが重要と考える。 何よりも、本人ニーズと真に施設生活が必要な方なのかの判断のための、実態調査が必要と考える。 ・成果目標4について、就労移行の推進に取り組み、移行後における職場定着率の向上に向けた支援にも継続して努めていただきたい。	・昨年度実施したアンケート調査によると、福祉施設で暮らしている、2.5%が「一人で暮らしたい」、4.9%が「グループホームで暮らしたい」、19.7%が「家族と暮らしたい」と回答しており、地域移行を希望している本人ニーズは一定程度あると考えられます。 ・職場定着率の向上に向けた支援にも継続して努めて参りたいと思います。
	(ウ) 第1期いわき市障害児福祉計画の成果目標に係る実績等について(54頁)	【確認(案に同意)】	
第5次いわき市障がい者計画等について(別冊3、別冊4)	(1) 第5次いわき市障がい者計画について(別冊3 6頁～8頁)		
	(ア) 基本理念	・持続可能な開発目標(SDGs)の視点も必要ではないか。入れたときには、基本目標や計画の体系にも反映させる。	・SDGsとは、2030アジェンダにおいて定められた、17の目標と具体的に達成すべき169のターゲットからなる国際的な開発目標であり、2016年から2030年までの15年間を実施期間としているものです。SDGsは、「誰一人取り残さない」との理想の下、障害者など脆弱な立場に置かれた人々にも焦点を当てた目標となっています。2016年12月 国の推進本部においてSDGs実施方針が決定されました。 ・SDGs実施方針付表に掲げた具体的な施策の中に、障害者に関連した施策が盛り込まれ、第3次障害者基本計画に規定する施策の推進が盛り込まれています。 ⇒SDGsの視点の反映につきましては、検討を重ねて参りたいと思います。
	(イ) 基本目標	【確認(案に同意)】	
	(ウ) 計画の視点	【確認(案に同意)】	
(エ) 計画の体系	・教育・育成アの具現化を図ってほしい。特に、家庭支援のネットワークと充実。 ・同じくエは、関係機関の連携 ・オは、担当の明確化 ・雇用・就業ア、イの担当と窓口の明確化 ・同じくウは、目標のデジタル化が図られると良いと思われる。 ・教育・育成に、「効果的な学習環境の提供(コンピュータ等の情報機器(ICT機器)の活用を含む)」が必要ではないか。	・「一貫した療育支援体制の充実」 ・「社会的及び職業的自立の促進」 ⇒4次障がい者計画の評価と課題において、求められる支援となっています。 ・「生涯学習活動の充実」：スポーツ振興課、障がい福祉課、生涯学習課、図書館が担当課となり事業形成しております。 ・ア「就労支援及び生活支援の推進」 イ「多様な就労の場の提供」：職員課、障がい福祉課、総務課、商業労政課が担当課となり事業形成しております。 ・ウ「一般就労への移行促進及び職場定着の支援体制の充実」：障害福祉計画にて成果目標設定予定です。 ・「効果的な学習環境の提供(コンピュータ等の情報機器(ICT機器)の活用を含む)」につきましては、要検討事項とさせていただきます。	

自立支援協議会第2回全体会 委員意見取りまとめ(障がい者計画等の策定作業について)			
計画	項目毎	意見・質問	質問や意見に対する分析等
第5次いわき市障がい者計画等について (別冊3、別冊4)	(2) 第6期いわき市障害福祉計画について		
	①成果目標について(別冊4 1頁～5頁)		
	(ア) 成果目標1: 障害福祉施設の入所者の地域生活への移行	・先ず数字ありき(国の目標値があるので仕方ないのかと思われる)は、間違いと考える。先ずは本人ニーズであり、その実態の上で、果たしてこの数値が妥当なのか判断すべきと考える。 更に、なぜ施設から地域なのか、その明確な理由も示すべきと考える。	・ご意見を踏まえ、理由の明示について検討させていただきたいと思います。
		・障害福祉施設の入所者の地域生活の移行等の目標について、現在の利用者で地域生活を希望している方がどの程度いるのかは把握できているのか。	・昨年度実施したアンケート調査によると、福祉施設で暮らしている2.5%が「一人で暮らしたい」、4.9%が「グループホームで暮らしたい」、19.7%が「家族と暮らしたい」と回答しており、地域移行を希望している本人ニーズは一定程度あると考えられます。
		・令和元年度の共同生活援助利用者数の実績は337名。第6期市障害福祉計画での定員数事業計画は349名。令和2年度から令和5年度にかけて12名を増やすという計画でよろしいか。 ・第6期障害福祉計画では、令和5年度末時点で障害福祉施設の入所者の地域生活への移行目標が19名となっているが、7名はグループホームではなく在宅生活になるということでもよろしいか。受け皿がない状況で地域移行は難しいと思われる。	・定員事業計画数349名は、既存事業所に対しての今後の定員数の計画を集計した数値です。計画値としては、各年度の利用者数が見込値となります。 ・上記質問により19-12名=7名が在宅生活との積算と思われます。定員に対する数値であることから、一概に7名とは言いきれないところですが、アンケート調査からも在宅へのニーズがあることから、一部は在宅での地域移行も考えられます。
	(イ) 成果目標2: 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	【確認(案に同意)】	
	(ウ) 成果目標3: 地域生活支援拠点等有する機能の充実	・先程の地域生活支援部会に参加した者からの報告で、ハイリスクの方が市南部に220名程いるという事を聞いた。この220名の方のニーズとして、例えば何名位がどのようなニーズ(緊急宿泊等)を求めているのかが分かれば、法人単位として、施設整備に併せて検討することができると思われる。	・ご意見について、専門部会へ還元して参りたいと思います。
		・地域生活支援拠点の設置を早急をお願いしたい。	・「面的整備型」による事業構築により、令和2年度に整備実施済みとなっております。
	(エ) 成果目標4: 福祉施設から一般就労への移行等	・令和元年度末実績が、就労支援部会で把握している数より少ないと思う。令和元年度実績はまだ把握していないが、平成30年度実績だけで、A型からの移行が6名、B型からの移行が4名となっている。算出の方法はどのように行っているのか。 ・移行支援事業所数が増え、現在9か所(定員110名)となっているが、一般就労への移行目標が、令和5年度中に39名。少し消極的だと感じた。平成28年度実績当時は事業所数が少なかった(現在の半数)にも関わらず47名が一般就労へ移行している。2年以内で一般就労へ移行する為の支援を行う移行支援事業所の目標値としては、少ないと思う上に、目標数が事業所数(定員数)に反比例していることに疑問を感じる。また、A型やB型からの一般就労への移行目標数も少ないと感じた。	・就労支援部会で集計した結果に基づき算出しています。 ・国において、5期障害者計画において、目標値の達成が困難であることから1.5倍から1.27倍と下方修正しました。当市においても、5期障害者計画において、令和元年度は目標値未達成となっております。定員数は増となっているが、各事業所利用者が定員割れしている状況も影響している可能性があります。
		・就労移行支援事業の利用者増により、就労定着率が向上されるよう期待している。	・ご意見を踏まえ、就労定着率の向上に向けた支援にも継続して努めて参りたいと思います。
(オ) 成果目標5: 相談支援体制の充実・強化等	・地域の各分野の活用とネットワークを活かした相談支援機関との連携強化を進めてほしい。	・計画相談事業所のネットワーク会議を始め、各地域毎の課題に応じたケア会議の実施の増への働きかけなどに取り組んで参りたいと思います。	
	・福祉サービスを利用する全ての方が計画相談を利用できるようにして頂きたい。障害者就業・生活支援センターに相談に来られる方の中にも福祉サービスの利用を希望される方も多く、初めて福祉サービスを利用される方が大半であり、計画相談が見つからない場合も多く、セルフプラン作成の支援を行っている。しかしながら、就労移行支援事業所や就労継続支援A型事業所が年々増加しており、福祉サービス利用に向けた支援の割合が増え、本来の役割である就職支援や職場定着支援に影響が出てきてしまうのではと危惧している状況である。	・5期障害者計画において、計画相談を最終年度ですべての利用者が利用できる見込量で策定しましたが、令和元年度で達成率81%、障害児相談支援では77.9%となっています。次期計画の目標について、検討を進めて参りたいと思います。	
	・支援方法として、電話や関係機関が多くみられる。忙しい中とは思いますが、できるだけ訪問対応が望ましい。	・障がい者相談支援センターの実績報告についてのご指摘かと思われます。「支援方法」のうち、電話相談や関係機関については、相談を受けた件数もカウントしていることから、数値として多くなっております。相談受理後、訪問する必要性のあるものについては、訪問や同行といった対応を実施しております。	

自立支援協議会第2回全体会 委員意見取りまとめ(障がい者計画等の策定作業について)			
計画	項目毎	意見・質問	質問や意見に対する分析等
第5次いわき市障がい者計画等について(別冊3、別冊4)	(カ) 成果目標6：障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築	【確認(案に同意)】	
	②数値目標について(別冊4 9頁～17頁)		
	全体	・全体的に水準を下回るや下回る水準等が多い。コロナ禍ということもあり、利用は、減少傾向かもしれないが、利用しないのか、利用したい人が少ないのはなぜか、利用できないのか、そのあたりが不安に思う。	・事業所における人員不足など、様々な要因が考えられます。各サービスのニーズや充当状況について、把握を進められるよう努めます。
	就労定着支援	・就労移行支援及び就労継続支援A・B型ともに利用実績値が増加傾向にある為、定着支援の利用実績も増加するよう、検討をお願いしたい。	・就労定着支援事業所が現在「ソーシャルスクエア」の1箇所のみとなっています。令和2年の実績値も含めて積算することから増で検討しております。成果目標に「一般就労への移行者のうち、7割が就労定着支援を利用する」が掲げられており、成果目標としては、令和5年度に28人としています。成果目標と整合性を図って参りたいと思います。
	同行援護	・障がい者当事者の立場として、個人的には希望通り利用できている。	・該当事業におけるご意見として頂戴いたします。
	生活介護	・サービスの充足状況について、ヘルパーが足りず提供できないことがあると聞いている。一方で、余暇活動としてレクリエーションに参加する際に、夫婦に対して別々にヘルパーが入っていることがあるとも聞いており、勿体ないとも感じる。ヘルパーの責任の所在や制度利用の在り方、個別性の高い話にもなるため、一意見に留める。	・該当事業におけるご意見として頂戴いたします。
	宿泊型自立訓練	・実施している事業所は、全国においても減少しており、事業所自体が無くなっていくのではないかとと思う。	・ご指摘の内容も含め、市内の状況を確認中です。必要に応じて、令和4年度以降の計画値を修正します。
	就労支援A型	・市全体で利用実績の伸び率が増加しているのに対し、計画の定員数が100から90と減らしているのはなぜか。	・事業計画の値は、既存事業所に今後の定員計画を確認したものです。
	(3) 第2期いわき市障害児福祉計画について		
	①成果目標について(別冊4 6頁～7頁)		
成果目標1：障害児支援の提供体制の整備等	・放課後等デイサービスについて、地区によっては事業所が不足しているということでもよろしいか。充足している地区での総量規制は行う予定はないのか。	・地区別に不足が生じている状況にあります。 ・不足している地区の利用者は、他地区で利用していることが考えられ、現時点で総量規制を行う予定はありませんが、今後現状の把握等を行って参りたいと思います。	
②数値目標について(別冊4 18頁)			
【確認(今後の見込み)について、記載の通りで問題無し】			
その他		・強度行動障害に限らず、多くの支援が必要な学齢児の生徒の進路先確保が厳しくなっている。福祉へのつながりへの部分での対応を、現状の理解を含め、市として計画的、組織的に取り組んでほしい。	・ご意見を踏まえ、実態や課題把握等について、検討を進めて参りたいと思います。
		・支援学校から、行き場のない生徒について相談がある。学校サイドの意見をよく聴く必要があると思われる。	・ご意見を踏まえ、実態や課題把握等について、検討を進めて参りたいと思います。

	R2	R3	R4	R5
平	165	185	185	185
小名浜	156	156	156	156
勿来	20	20	20	20
常盤	80	80	80	80
内郷	35	35	35	35
四倉	10	10	10	10
小川	10	10	10	10
未定				10
合計	476	496	496	506